令和７ 年度　入学試験（学部・一般選抜）　国語

国語では、解答の書き方・表現を一つに限定しがたい設問について、採点基準に近い形の出題意図を示す。

1

問（一）（解答例）
「芸術係数」という概念は、作品に込められた芸術家の意図が正しく鑑賞者に伝わるといった、単純な理解の枠組みが成り立たないことを暴き立ててしまうものだということ。

問（二）（解答例）
「芸術家が表現しようとしたもの」と「実際に表現されたもの」は、決して唯一の対応関係を取り結ぶものではなく、多様な条件や前提のもとでその関係自体が絶えず変容するということ。

問（三）（解答例）
夢の中での無意識や半意識の状態で知覚するイメージまで「表現」と呼ぶと、芸術分野の表現について考察してきた本論の論旨から逸脱するかたちで、「表現」の及ぶ範囲を大きく広げることになるということ。

問（四）（解答例）
芸術家が表現しようと意図しなかったものを鑑賞者が受け取ったために、作品が人気を得たり、高く評価されたりすることは、芸術家にとって予期せぬ好結果であり、「僥倖」や「怪我の功名」が意味する、偶然に訪れた幸運とも言うべきものであるから。

問（五）（解答例）
そもそも表現とは、芸術家が自身の意図だけを頼りに独りで完結できるものではなく、その創作を支える前提として他者の言葉が入り込んでおり、ゆえにその芸術家自身にとっても、おのずと未知のものを含み持たざるを得ないと言えるから。

問（六）（意図・基準）
本問は課題作文に当たる。文章・構成面では、字数が８割以上あり、最後まで書き終えていること、誤字・脱字がなく、全体の構成がきちんと構築されていることを求めている。内容面では、本文の内容を踏まえていること、指示されていることにふさわしい内容であること、論理が一貫し、結論まできちんと書かれていることを求めている。

問（七）
（ａ）恣意　　（ｂ）挫折　　（ｃ）きょうがく　　（ｄ）偏向　　（ｅ）空疎

2

問（一）（解答例）
　死ぬ決意をした時のような、強い気持ちが、今は鈍ってしまったということ。

問（二）（解答例）
　仲間の僧が、思い残すことがあればおっしゃって下さいと上人に促したこと。

問（三）（解答例）
　僧正がご病気になられたことがあったが、それがただならぬ御様子とお見えになったので

問（四）（解答例）
　「ああ、どうか首をくくるのをお留め下さいませ、そうしたら死ぬのを思いとどまろう」と思ったのに、お留め下さるようなことがなかったのは悔しゅうございます。

問（五）
　（ａ）受身の助動詞「る」の連用形
　（ｂ）過去推量の助動詞「けむ」の連体形
　（ｃ）打消の助動詞「ず」の連体形

3

（一）

1. いな
2. こた
3. しか　（さ）

（二）

殿がすぐさま中山を伐たなければ、斉や燕に後れをとることになるでしょう。

（三）

あなたのことばによれば、中山の君主はすぐれた人物と思われる、どうして攻めることができようか。

（四）

中山の君主が隠者や無位無冠の者たちばかりを大切にするため、兵士や農民といった実際に国のために働く者たちが不平を抱いて力を尽くさず、国力が衰えていると判断したから。